



2020年12月期 決算説明会

株式会社 堀場製作所

代表取締役会長兼グループCEO 堀場 厚

代表取締役社長 足立 正之

2021年2月15日

セグメント名の変更

2021年1月1日より以下の通り報告セグメントの名称を変更しました

変更前	変更後
自動車計測システム機器	自動車
環境・プロセスシステム機器	環境・プロセス
医用システム機器	医用
半導体システム機器	半導体
科学システム機器	科学

説明内容

- 2020年12月期 決算概要
- 2021年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス～社会課題に貢献するHORIBA
- 株主還元

< 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

説明内容

- 2020年12月期 決算概要
- 2021年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス～社会課題に貢献するHORIBA
- 株主還元

2020年の振り返り

外部環境

- ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の縮小
- ◆ 自動車業界の設備投資低迷、電動化対応投資加速
- ◆ 通信データ需要の増大に伴う半導体生産設備投資の増加
- ◆ ライフサイエンス分野の関心が高まる

内部状況

- ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大による各国の行動制限措置のなかで可能な限り事業活動継続
- ◆ 日本・中国・欧州を中心に成長投資を継続
- ◆ 在宅勤務制度を発展させた「Good Place勤務制度」、オンラインコミュニケーションツールの活用進む

2020年12月期 連結実績

(単位：億円)

	2019年	2020年			
	実績	前回予想 (11/12)	実績	VS 前年	VS 前回予想
売上高	2,002	1,880	1,870	▲ 131	▲ 9
営業利益	209	160	196	▲ 12	+36
営業利益率	10.4%	8.5%	10.5%	+0.1p	+2.0p
経常利益	205	150	193	▲ 11	+43
親会社株主に帰属 する当期純利益	154	105	131	▲ 22	+26
USドル (円)	109.03	107.00	106.76	▲2.27	▲0.24
ユーロ (円)	122.03	120.00	121.88	▲0.15	+1.88

2020年12月期 連結実績 (セグメント別)

(単位：億円)

	売上高					営業利益				
	2019年	2020年				2019年	2020年			
	実績	前回 予想 (11/12)	実績	VS 前年	VS 前回 予想	実績	前回 予想 (11/12)	実績	VS 前年	VS 前回 予想
自動車	810	670	639	▲171	▲30	64	5	24	▲39	+19
環境	195	180	183	▲11	+3	16	10	16	▲0	+6
医用	253	210	210	▲43	+0	13	▲5	▲4	▲17	+0
半導体	471	555	569	+97	+14	107	140	140	+33	+0
科学	271	265	268	▲3	+3	7	10	★ 19	+12	+9
合計	2,002	1,880	1,870	▲131	▲9	209	160	196	▲12	+36

2020年12月期 連結実績 (B/S、CF)

B/S

- ◆総資産は、拠点整備・資金調達の実施などにより
+129億円の3,280億円
- ◆自己資本比率は54.3%

(2019年12月末比)

CF

- ◆利益計上などにより、営業CF：+322億円
 - ◆設備投資などにより、投資CF：▲140億円
 - ◆社債償還と長期借入の実施などにより、財務CF：+8億円
- フリーCF：+182億円

説明内容

- 2020年12月期 決算概要
- 2021年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス～社会課題に貢献するHORIBA
- 株主還元

市場環境の想定

全般		新型コロナウイルス感染症の収束への期待は高まりつつあるが、 社会経済活動の先行きは依然不透明
自動車		停滞した開発投資需要の回復を期待 電動化・自動運転技術は開発加速を見込む
環境		環境規制需要は堅調に推移し、大気・水質計測を中心にアジア市場が拡大 石油プロセス市場は不透明感が継続
医用		新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明であり、 市場環境は見通しにくい
半導体		半導体メーカーの設備投資は高水準で継続 半導体製造プロセスの技術進化により、中期的に計測需要が拡大
科学		企業による研究開発・設備投資の回復を見込む 半導体・ライフサイエンス市場での需要拡大を期待

2021年12月期 業績予想

(単位：億円)

	2019年	2020年	2021年	
	実績	実績	予想	VS 前年
売上高	2,002	1,870	2,000	+129
営業利益	209	196	200	+3
営業利益率	10.4%	10.5%	10.0%	▲0.5p
経常利益	205	193	195	+1
親会社株主に帰属 する当期純利益	154	131	135	+3
一株利益 (円)	367	312	319	+7
ROE	9.3%	7.6%	7.4%	▲0.2p

2021年12月期 業績予想 (セグメント別)

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2020年 実績	2021年 予想	vs 前年	2020年 実績	2021年 予想	vs 前年
自動車	639	640	+0	24	10	▲14
環境	183	★ 210	+26	16	15	▲1
医用	210	250	+39	▲4	5	+9
半導体	569	★ 610	+40	140	155	+14
科学	268	★ 290	+21	19	15	▲4
合計	1,870	2,000	+129	196	200	+3

説明内容

- 2020年12月期 決算概要
- 2021年12月期 業績予想
- **セグメント別詳細説明**
- トピックス～社会課題に貢献するHORIBA
- 株主還元

2020年実績/2021年予想

(単位：億円)

2020年実績

※1 Mechatronics (自動車計測機器)
 ※2 Engineering Consultancy & Testing
 (自動車開発全般に関するエンジニアリング・試験)

- 新型コロナウイルス感染症拡大による企業活動停滞の影響を受ける

【排ガス・MCT※1】

製品出荷・検収遅延の発生、営業活動は限定的
 自動車関連メーカーの設備投資低迷の影響を受ける

【ECT※2】

行動制限措置により稼働低迷

2021年予想

【排ガス】

低迷した自動車メーカーの設備投資の回復を見込む

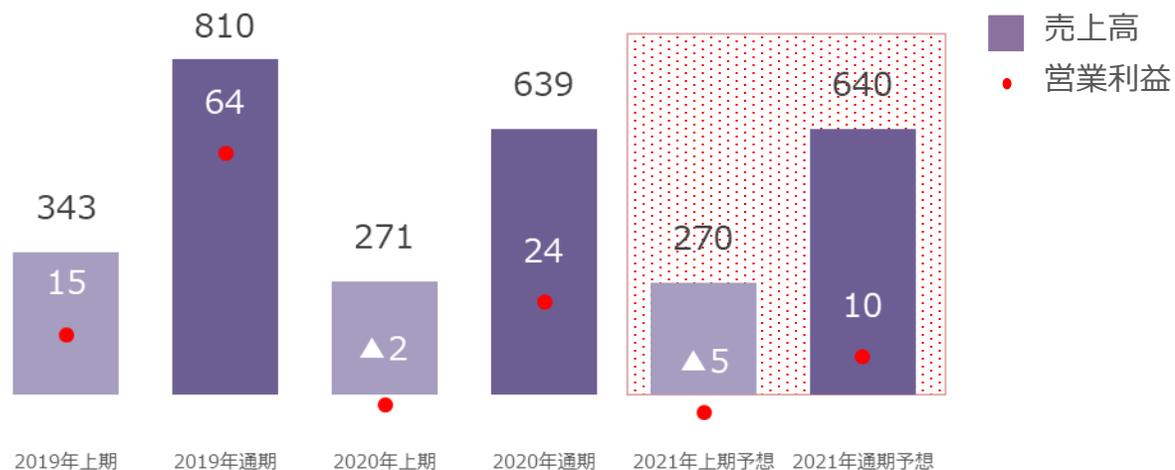
【MCT】

自動車関連メーカーの電動化車両への投資加速により販売増

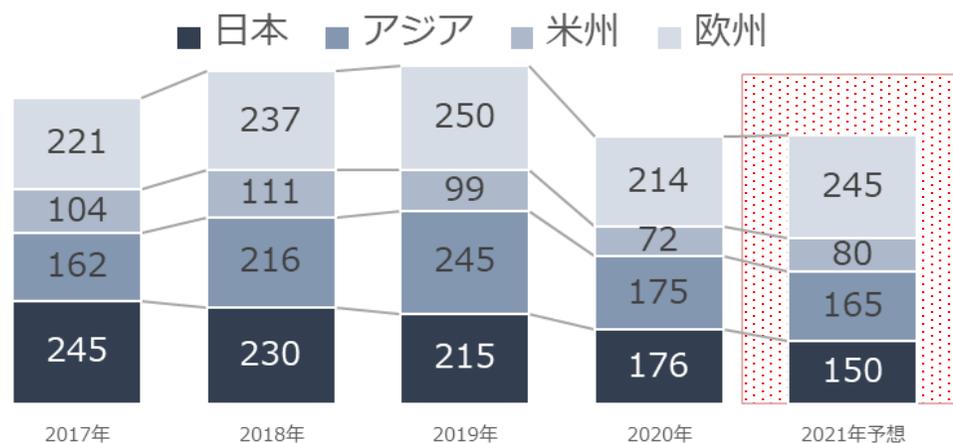
【ECT】

コネクテッド、自動運転、また自動車のセキュリティに関する技術開発の加速によるビジネスの拡大

売上高・営業利益推移 (上期/通期)



地域別売上高推移



2020年実績/2021年予想

(単位：億円)

2020年実績

- 公共投資需要は底堅いものの、新型コロナウイルス感染症拡大による企業活動停滞の影響を受ける

【ガス計測・水質計測】

公共分野を中心とした規制需要は底堅い

【水質計測】

電子産業向け環境機器の需要堅調

2021年予想

- 新型コロナウイルス感染症拡大により低迷した経済活動の回復を見込む

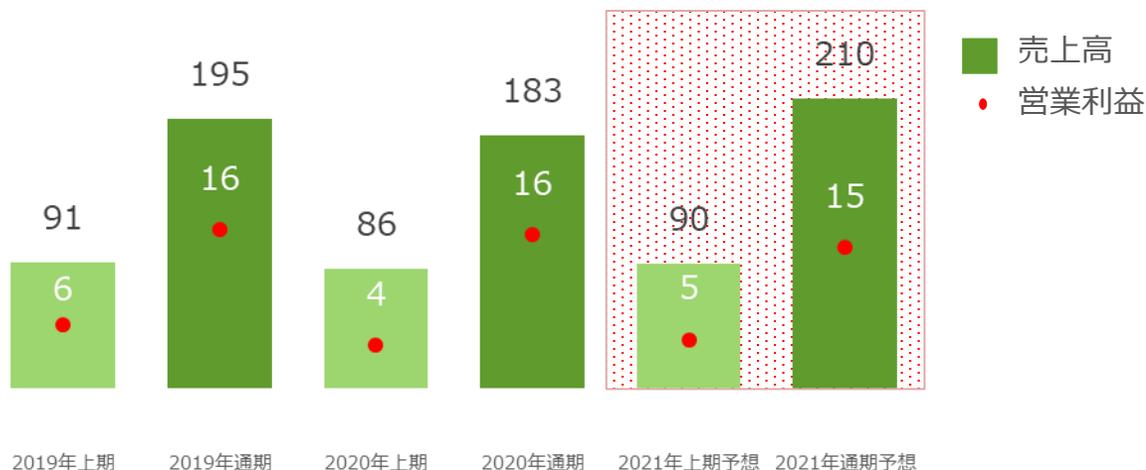
【煙道排ガス・大気】

アジアでの環境規制強化による受注獲得

【水質計測】

日本・アジアでの上水・電子産業向け販売堅調

売上高・営業利益推移（上期/通期）



地域別売上高推移



2020年実績/2021年予想

(単位：億円)

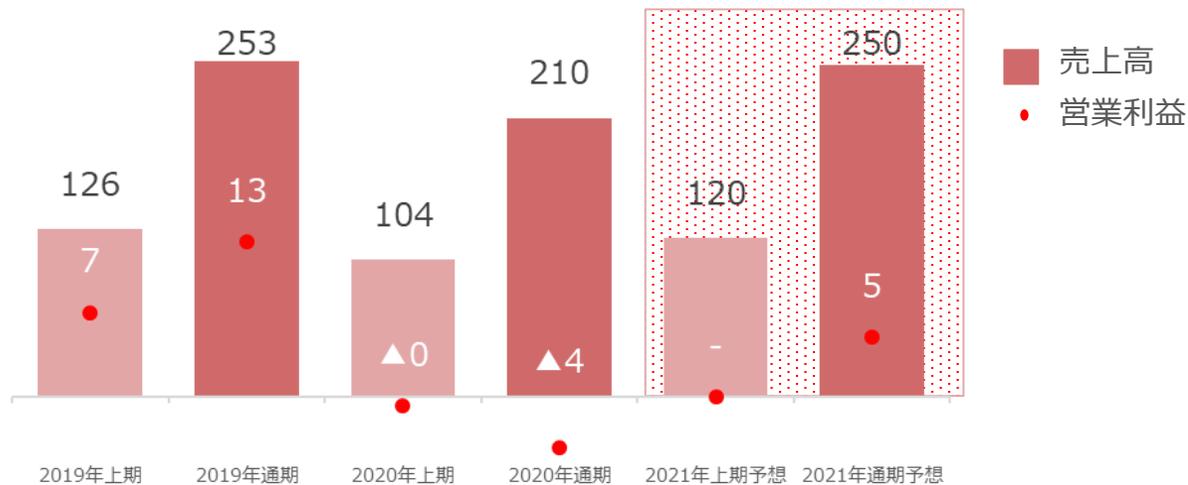
2020年実績

- 新型コロナウイルス感染症拡大による通院患者数の減少に伴う病院での検査数が減少、販売が減少

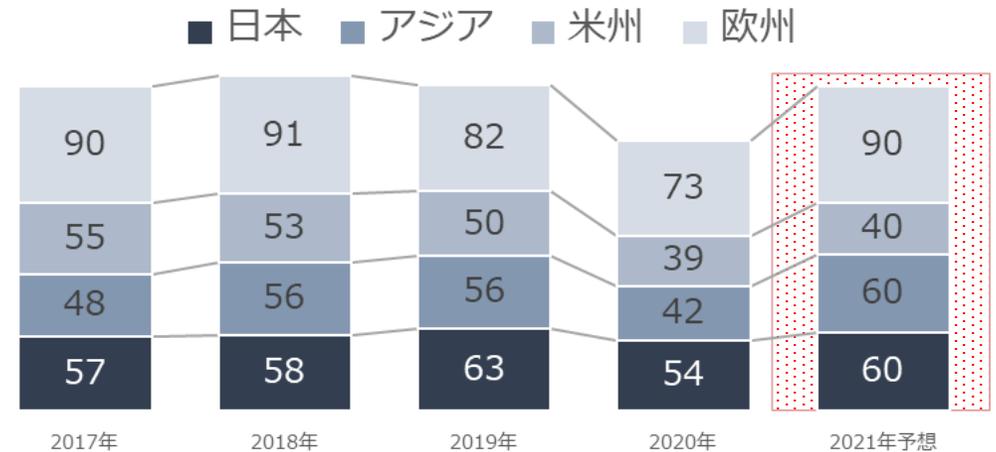
2021年予想

- 新型コロナウイルス感染症拡大の収束と、それに伴う病院への通院患者数の回復を期待
- シーメンスへの血球計数計測装置の供給開始、中長期的な収益貢献を見込む
- MedTest社買収により米国における生化学ビジネスでの試薬生産機能を強化、中長期でのビジネス拡大をめざす

売上高・営業利益推移（上期/通期）



地域別売上高推移



2020年実績/2021年予想

(単位：億円)

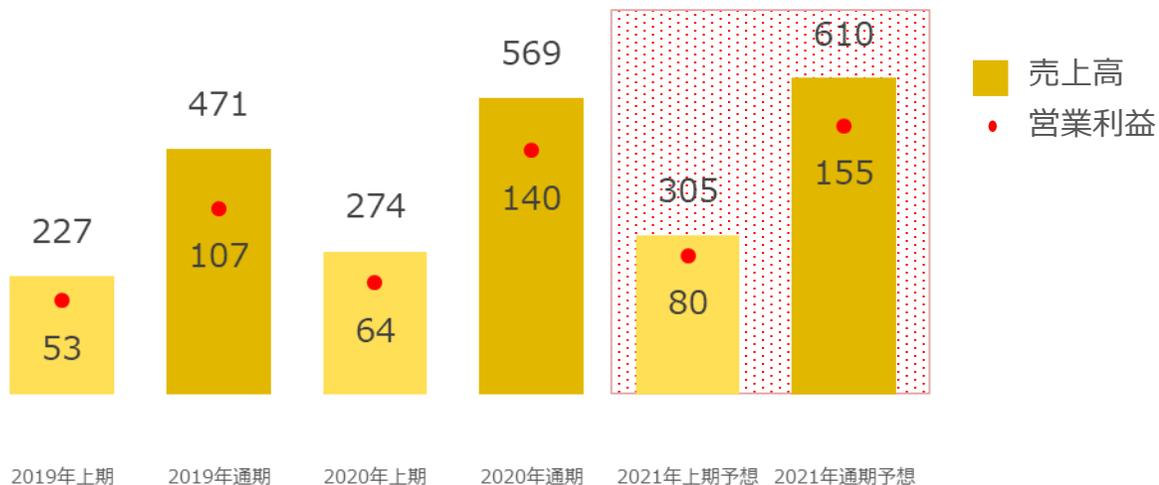
2020年実績

- テレワークやデジタルビジネスの拡大に伴って半導体需要が増加
- 半導体メーカーによる設備投資回復、半導体製造装置メーカーへの販売増加

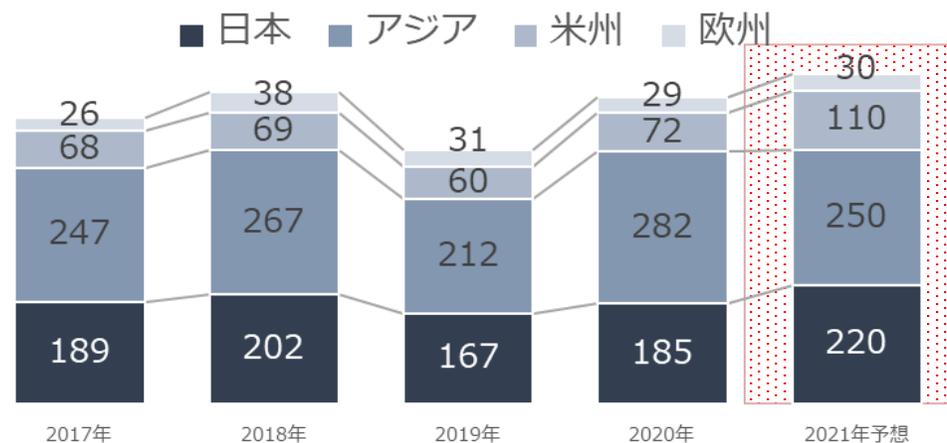
2021年予想

- 引き続き、半導体需要の増加に伴い、半導体メーカーの設備投資の増加、半導体製造装置メーカーへの販売増加を予想
- 製造プロセス複雑化に伴い、各種モニタリング要求増加が見込まれる

売上高・営業利益推移（上期/通期）



地域別売上高推移



2020年実績/2021年予想

(単位：億円)

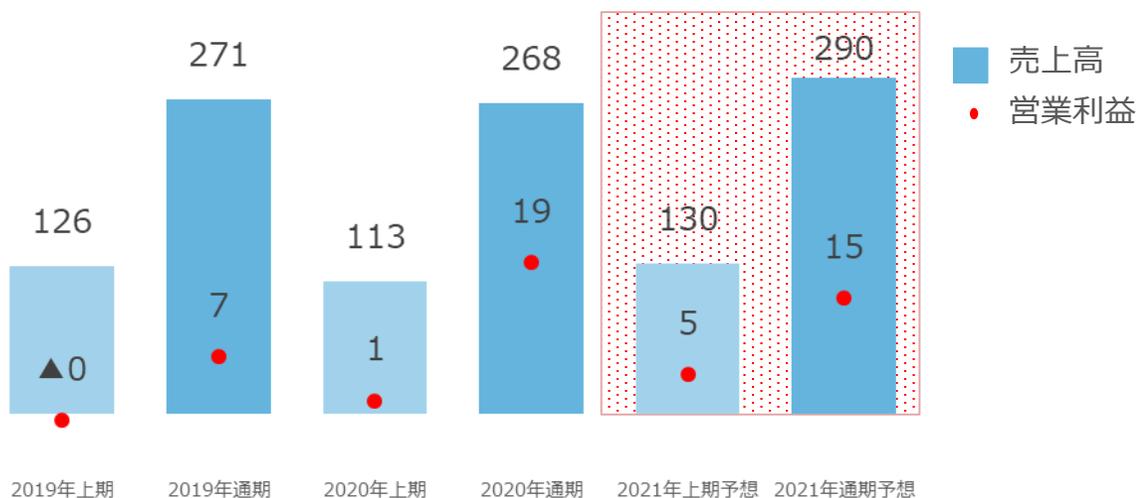
2020年実績

- 新型コロナウイルス感染症拡大による企業活動停滞などの影響を受け、販売が減少
- 半導体製造装置メーカーやライフサイエンス機器用光学モジュールの需要増加
- 販売費などの経費削減効果などにより、増益

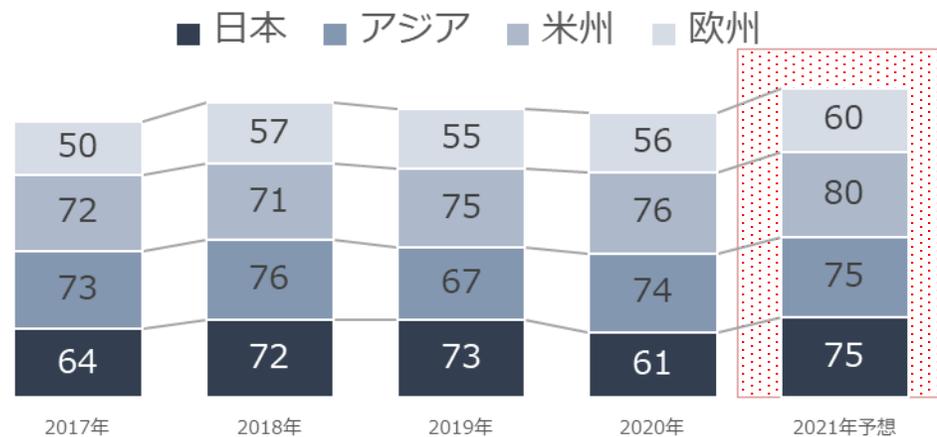
2021年予想

- 2020年に低迷した研究開発・設備投資の回復を見込む
- 製薬などライフサイエンス分野でのさらなる需要拡大を期待

売上高・営業利益推移（上期/通期）



地域別売上高推移



説明内容

- 2020年12月期 決算概要
- 2021年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- **トピックス～社会課題に貢献するHORIBA**
- 株主還元

社会課題に貢献するHORIBA

様々な社会課題に対応するビジネスの拡大

1. Market Oriented Business

メガトレンドをリードする3フィールドに、コア技術をフル活用した分析・計測ソリューションを展開

Energy & Environment

Bio & Healthcare

Materials & Semiconductor

3フィールド

2. Solution Provider Beyond Life Cycle Management

製品導入からリプレイスまで、全方位でお客様のコアビジネスをサポート

3. HORIBA Core Values “The Next Stage of Super Dream Team”

中長期経営計画”MLMAP2023”

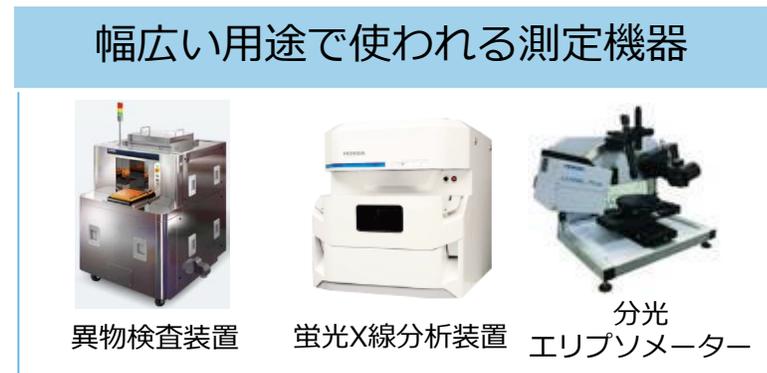
Optical Smart Sensing技術を推進

- ✓ Optical Smart Sensing (OSS) 技術の視点から、HORIBAグループがグローバルに保有する様々なセンシング技術を活用し、半導体市場にアプリケーションの積極投入を図る
- ✓ 半導体事業の主力グループ会社である堀場エステックにOSSに特化した部門を新設



【Optical Smart Sensing技術活用の視点】

- ✓ 半導体製造プロセスにおける生産性改善に貢献
- ✓ 半導体製造装置の制御プロセス管理におけるビッグデータ活用



半導体市場向けビジネス確立

新たな半導体市場向けビジネスとしての展開を図る

ヘルスケアビジネスの展開 < 医用事業 >

MedTest 社買収による米国ビジネスの拡大



- ✓ 幅広い生化学試薬の開発と生産、装置と組み合わせたアプリケーション開発機能を保有
- ✓ 世界的に厳しい品質システムを要求するFDA※1による規制に準拠した体制を構築

※1 FDA (Food and Drug Administration) アメリカ食品医薬局



会社名: **MedTest Holdings Inc.**
傘下にある4事業会社も対象

設立: 2011年

売上高: 約13億円 (2020年速報値)

従業員: 52名 (グループ)

買収契約日: 2021年1月28日

- ✓ 生化学関連分野の試薬生産およびアプリケーション開発を加速
- ✓ 日仏米3拠点での開発体制を強化



IVD※2分野でのさらなるビジネス拡大をめざす

研究開発から生産プロセスまで、多岐にわたって貢献

医薬品プロセス評価

プロセスラマンシステム



分析プローブ&顕微ラマン

プローブ

プローブ

バイオリアクター（反応槽）

- ✓ 医薬品製造プロセスにおけるリアクターのモニタリング
- API濃度・結晶多形モニタリング
- 水和物などの管理

血液中のエクソソーム※分析

ナノ粒子径分布・濃度測定装置



ViewSizer™
3000

※エクソソーム：様々な細胞から分泌される直径50-150nmの顆粒状物質

高感度で迅速な微生物汚染検査

微生物迅速検査装置



Rapica

ワクチンの出荷検査

蛍光測定装置



Aqualog

錠剤中の薬効成分定量分析

透過型ラマン分光分析装置



水素エネルギー：「クリーン」「貯蔵・輸送可能」「無尽蔵」

水素をかしこく

✓ つくる



Evaluator EC/ES
水の温度や流量制御し、5000 kW までの水電解セルの性能・効率評価を行う

水電解セル性能評価

✓ ためる



マークス型高周波グロー放電発光表面分析装置
めっき中の水素分布を評価。水素の放出を判明させる

水素脆化評価

✓ つかう



Evaluator EC/ES
開発段階での燃料電池の試験要件を満たし、性能評価やサイクル評価を行う

燃料電池システム評価

実証実験から実用化まで、幅広くカバー

一部製品を紹介。詳細はリンク先をご覧ください

<https://www.horiba.com/jp/corporate-news/events/horiba-showcase/wsew/2020/corner/fc-expo/>

Hydrogen Energy Projectを新設

- ✓ 水素関連市場に対する取り組みを強化するため、既存5事業の横断組織「Hydrogen Energy Project」を新設
- ✓ HORIBAのコア技術で水素を多面的にとらえ、水素エネルギー社会への貢献をめざす

自動車の電動化とHORIBA

内燃機関から電動化まで、自動車開発における計測のトータルソリューションを提供

電動
車両

車種	動力源	必要開発技術			
		車両	駆動系	エンジン	バッテリー/FC
内燃機関車	エンジン	✓	✓	✓	
ハイブリッド (HEV)	エンジン+モーター	✓	✓	✓	✓
プラグインハイブリッド (PHEV)	モーター+エンジン	✓	✓	✓	✓
燃料電池自動車 (FCEV)	モーター	✓	✓		✓
電気自動車 (BEV)	モーター	✓	✓		✓

	車両	駆動系	エンジン	バッテリー/FC
計測機器				
試験手順				
エンジニアリング				

HORIBAの技術

コネクテッド・自動運転車の開発施設を開設

設計から実車検証までを包括的に支援する「ASSURED CAV」

ASSURED CAV

4つの側面から
自動運転車開発をサポート

PHYSICAL

COMMUNICATION

SIMULATION

ENABLERS



開発エンジニアリング総合施設（2021年3月開設）



ASSURED CAV
HIGHWAY

高速限界挙動評価コース



市街地評価コース

ASSURED CAV
CITY



ASSURED CAV
PARKING

自動駐車評価エリア



MIRA周辺公道含
実路評価コース

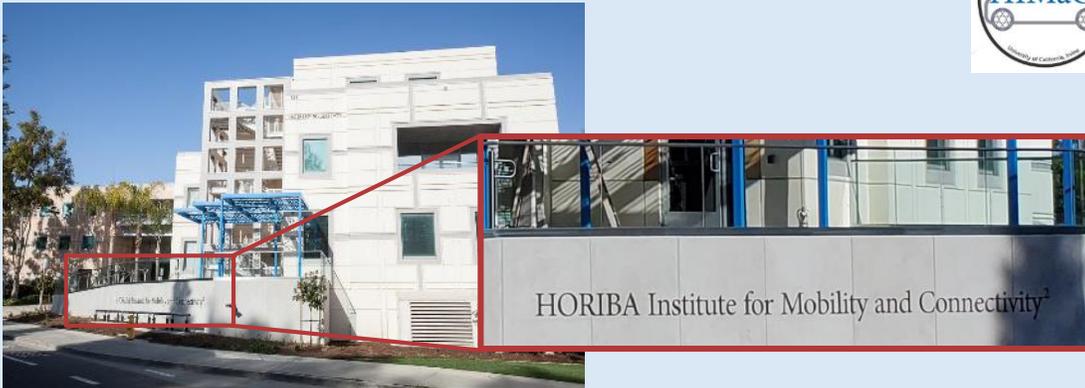
ASSURED CAV
ROUTES

グローバルにアカデミアと連携

HORIBA & カリフォルニア大学アーバイン校

- ✓ HORIBAが設立支援した新研究所が近日稼働開始
 - 「自動車開発」「グリッド開発」「コネクテッド・自動運転車」「エネルギー関連材料研究」の4つのラボで構成
 - モビリティ・エネルギー分野を横断する研究課題に取り組む

HORIBA Institute for Mobility and Connectivity



次世代モビリティと都市エネルギーネットワーク
を対象とするイノベーションを促進

HORIBA & 産業技術総合研究所

- ✓ 「堀場製作所-産総研 粒子計測連携研究ラボ」を、産総研内に設立
 - ナノ材料開発に寄与する、世界トップクラスの粒子計測システムの実用化を、オープンイノベーションでめざす

粒子計測連携研究ラボ

**HORIBA Institute for Particle Analysis
in AIST TSUKUBA
<HIPAA>**

PM2.5など、微小な粒子を
正確かつ簡便に
計測可能なシステム

カーボンナノチューブなど
先端材料の解析・
評価を行うシステム

産業に直結する先端研究を
早急にビジネスに活用

欧州・先端分光技術 生産拠点開設

分光技術のリーディングカンパニーとして市場を牽引

- ✓ フランス・リールにある研究開発・生産拠点を敷地内移転、
建屋面積を約2倍に拡張
- ✓ 分光技術によるエンジニアリングおよび生産を強化
- ✓ 半導体、製薬・創薬、細胞・遺伝子など幅広い領域に対象
市場を拡大

バイオ・ライフサイエンス分野の
重要性増加

分光分析技術および装置の需要は
拡大傾向

機能増強により質の高い製品の
開発供給を実現



LabRAM Soleil

【ラマン分光分析装置】
物質の成分分析や分子構造解析
などに使用



所在地： ホリバ・フランス社敷地内
(フランス・リール)
従業員数： 106人 (2021年1月)
投資額： 約13億円

新たなビジネスモデル確立にむけて

堀場テクノサービス 新社屋建設

- ✓ HORIBA製品の継続使用
サイクルを生み出す営業の
最前線として機能
- ✓ 分析を含むトータル
ソリューションの提案を
可能にするAnalytical
Solution Plazaを開設（旧は
かるLabの移転拡張）



2021年2月稼働開始
総工費：約38億円



MLMAP2023

稼働データを使用した
メンテナンスサービス

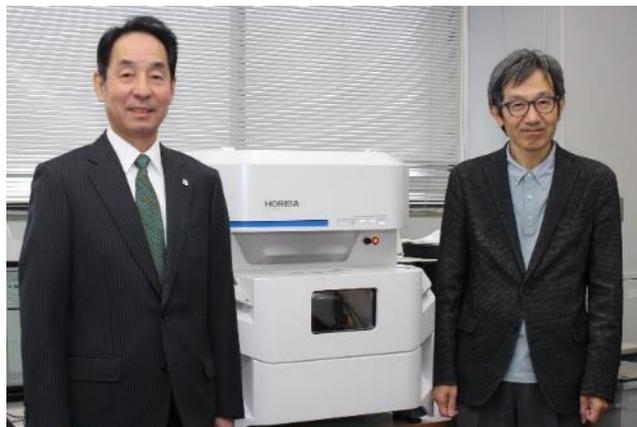
計測データを活用した
コンサルティング

ソリューション提案、データマネジメントを中心としたビジネスモデル確立をめざす

はやぶさ2 – 試料分析プロジェクトに参画

初期分析プロジェクトに参画

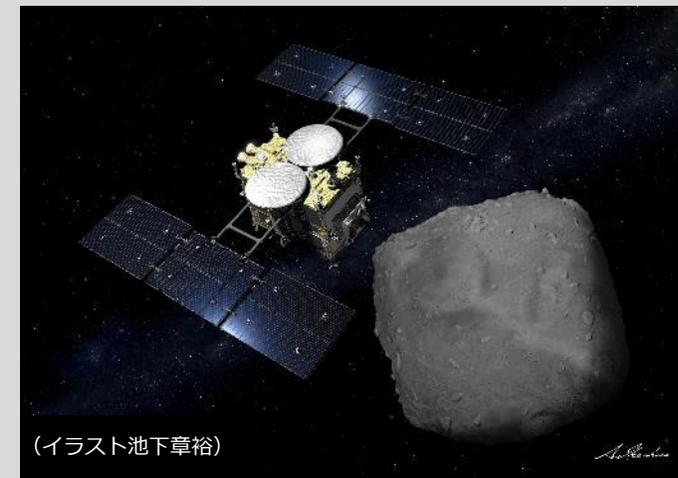
- ✓ 6つの国際チームが、小惑星リュウグウから採取した試料の初期分析を実施
- ✓ 高精度な微量分析を得意とする堀場テクノサービスが化学分析チームに所属
- ✓ 新社屋の「Analytical Solution Plaza」にて、蛍光X線分析装置を用いて、6月より分析開始予定



【蛍光X線分析】

- X線を試料に照射した時に発生する蛍光X線のエネルギーや強度から、物質の成分元素や構成比率を分析
- HORIBAの主要技術のひとつ

写真右から
化学分析チームリーダー・坂本尚義 北海道大学教授
堀場テクノサービス社長 千原 啓生



(イラスト池下章裕)

【小惑星リュウグウ (Ryugu)】

- 地球から3億4000万キロにある未知の岩石
- リュウグウは太陽系形成初期の情報を保持しており、有機物や水を多く含む小惑星と考えられている
- はやぶさ2は約5.4グラムのサンプルを採取

小惑星の起源・太陽系の誕生・生命誕生のなぞの解明へ

説明内容

- 2020年12月期 決算概要
- 2021年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- MLMAP2023進捗
- 株主還元

株主還元政策

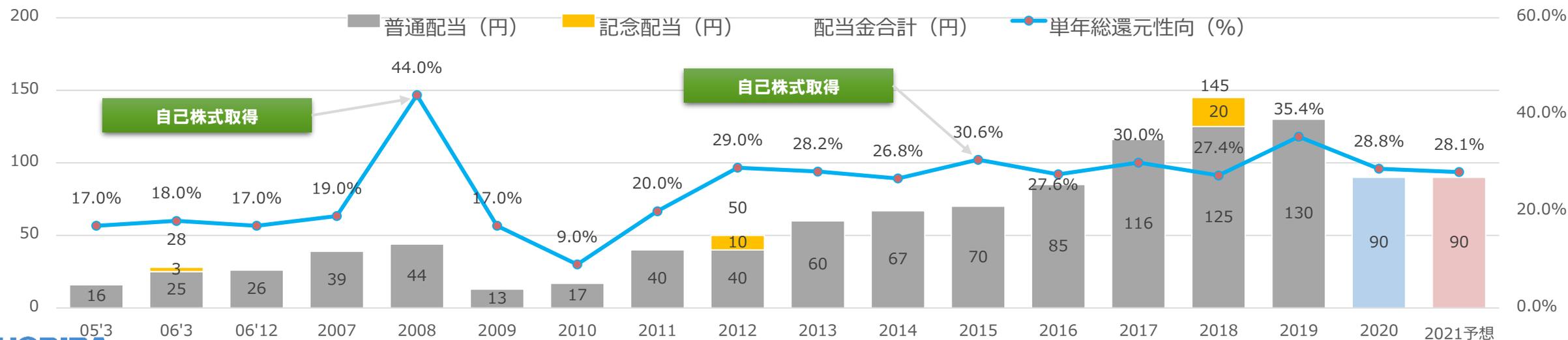
基本的な考え方

- 配当金 + 自己株式取得 = 連結純利益 × 30% を目処
- 残りは戦略的投資資金として内部留保（設備投資・M&Aなど）

配当金及び自己株式の取得

- 2019年実績 130円[中間 50円、期末 80円]
- 2020年実績 90円[中間 30円、期末 60円]
- 2021年予想 90円[中間 30円、期末 60円]

配当推移



参考情報

2021年想定為替レート

	2019年	2020年	2021年	
	実績	実績	予想	VS 前年
USドル	109.03	106.76	105	▲1.76
ユーロ	122.03	121.88	125	+3.12

2021年予想：1円円高による営業利益へのインパクト（通期）

USドル ▲2.6億円

ユーロ ▲0.0億円

Omoshiro-okashiku
Joy and Fun



Terima kasih
谢谢
Gracias
Σας ευχαριστώ πάρα πολύ
धन्यवाद
شُكْرًا
Danke
Tack ska du ha
Grazie
THANK YOU
ขอบคุณครับ
Обольшое спасибо
Merci
감사합니다
Dziękuję
Cảm ơn
ありがとうございました